

教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 森 卓也 福山 香織
編集人 福山 香織
電話 050(3538)2346
1部15円 年定価360円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2024/7・1
No. 2096

・兵教組各専門部・研究所夏の学習会に参加しよう
・養護教員部新組合員学習会

第270回定例中央委員会

6月14日、ラッセホールで兵教組第270回定例中央委員会を開催した。9月ごろまでの当面する運動の展開、24年度予算案等について討議の上、満場一致で可決決定・承認された。
討議の中では、学校における働き方改革や「見える化・見よう化」運動の推進、組織の拡大・強化にむけたとりくみなどが語られた。

当面する具体的な運動について決定

冒頭、森戸中央執行委員長によるあいさつ(要旨参照)があり、「能登半島地震被災地支援のとりくみ」[学校における働き方改革へのとりくみ]、「組織の拡大・強化のとりくみ」の3点について提起し、兵教組を代表して、「教職員定数改善や業務改善、ワーク・ライフ・バランスの実現、政策・制度要求の実現、組織の拡大強化にむけたとりくみ等に全力でとりくむ決意」を述べた。
来賓として、梶原日教組中央執行委員長、福永連合兵庫会長、土取県職労中央執行委員長、隠樹立憲民主党兵庫県総支部連合会副代表、小西兵庫県議会議員からの激励をうけた。
経過報告、会計報告、監査報告が一括承認された後、協議事項として運動方針や予算案等について、提案があった。
各地域組合・専門部からは、勤務時間・業務負担などの問題、兵政連議員の必要性、教研活動の意義と重要性、多文化共生教育について等、多岐にわたる分野の議論や協議事項はすべて可決決定され、承認事項も絶対多数で承認された。



県内各地域組合・各専門部から集まった中央委員

森戸中央執行委員長

あいさつ要旨

■能登半島地震について
発災から165日目を迎える能登半島地震の震源地に近い能登半島の市町は、復旧がすすまず、現在も3000人を超える方が県外を含め避難を余儀なくされ、また学校も避難所となつていたり、断水が続いている地域もある。連合は4月中旬から七尾市にベースキャンプを設置し、独自の被災地ボランティアをスタートさせた。日教組からの要請により、4月、兵教組からも山根姫路市教職員組合執行委員長、坂本養父市教職員組合執行委員長長の2人が1週間支援にあたり、さらに現

学校の働き方改革

在、井上宝塚市教職員組合執行委員長も支援にあつて、3人に改めて感謝を申し上げ、その選出支える体制を構築いただいた各地区・地域組合・分会の皆さんにも感謝を申し上げます。
引き続き、被災地の復旧と子どもの学びと育ちの保障のために、日教組・連合とも連携をはかり、私たちができることにしっかりと取り組んでいく。
■持続可能な学校をめざして
中教審初中教育分科会・特別部会が5月に公表した「審議のまとめ」の内容は、私たちがもてる業務削減、教職員定数の改善、給減、教職員の業務の見直し、特法の廃止・抜本的見直しからほど遠いもので、業務削減は従来の三分の二の推進等にとどまり、「日教組7つの提言」でもとめている

意見書

学校現場では、いじめの件数や不登校の増加、不安定で複雑な家庭環境による貧困やヤングケアラー等、こどもたちを取り巻く課題は多様化している。
2021年の公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の改正により、小学校の学級編制標準は段階的に35人に引き下げられているが、きめ細やかな教育活動を推進するためには、中学校での実施も求められる。このように、こどもたち一人ひとりに丁寧な寄り添い、よりきめ細やかな指導・支援が必要となっている状況であるにもかかわらず、兵庫県内の学校現場では教職員の未配置問題が各地で発生し、年度当初から配置基準に満たない状態となっている。
加えて、育児休業、病気休職者などの代替措置が未充足であるなど、慢性的な教職員不足の状態が長く続いている。
一方、厳しい財政状況の中、独自財源により人的措置等を行っている自治体もあるが、自治体間の教育格差が生じることは大きな問題である。現在、義務教育費国庫負担制度については、国庫負担率が3分の1となっているが、国の施策として定数改善、教職員の働き方改革の実現に向けた財源保障をし、こどもたちが全国のどこに住んでいても、豊かな学びと育ちを保障するための条件整備は不可欠である。
よって、国におかれては、上記の状況を踏まえ、下記事項に取り組まれるよう強く要望する。

記

- 1 中学校での35人学級編制を実現すること。
- 2 学校の働き方改革・長時間労働の是正を実現するため、教職員定数の増員などを推進すること。
- 3 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げるとともに、必要な地方財政対策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

義務教育費国庫負担制度拡充をもとめる意見書



2年連続 県議会で兵教組がもとめる意見書が採択

採択

兵庫県議会第367回定例会において、兵教組がもとめる「豊かな学びと育ちのための少人数学級実現と教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書」が採択された。
今年度は新たに「教職員定数の増員」をもとめ、昨年度の「加配教員や少数職種増員」から大きくふみ込んだ内容となった。



6月13日、兵庫県議会第367回定例会において、義務教育費国庫負担制度拡充等をもとめる意見書が採択され、教育予算拡充にむけて前進となった。

子どもたちの学びと育ち、教職員のいのちと健康を守るために

このとりくみは、県内各自治体をはじめ、日教組指示のもと全国で取り組んでおり、各級議会の総意として意見書が国に届けられることが、次年度の教育予算の拡充や教職員定数増につなげる。引き続き、兵政連議員推薦議員等と連携し、教育予算拡充にむけて粘り強くとりくんでいく。
採択された意見書は、左記のとおり。



住宅の新築やリフォーム、マンション購入は 厚生会 でお得に



厚生会ハウジング

住宅購入 商談前 にお考えの方は必ず厚生会にご連絡を!

紹介の提携会社で成約すると特典が受けられます!

特典	マンション・建売住宅	新築請負	リフォーム
割引	物件価格の1%を割引	建物本体工事価格の2~4%を割引	見積額の3~6%を割引
特典	お祝い品(選べるギフト1万円相当)	建物本体工事価格の0.5%のお祝い金	契約金額の0.5%のお祝い金

ご希望に応じて提携会社を紹介します。

特典・詳細はスマイルポートから紹介希望を送信してください

厚生会ハウジング>しりょう請求>紹介希望



共通パスワード kouseikai

すまいる住宅貸付



新築やマンション購入・リフォームなどに! 貸付範囲 マイナス金利解除 将来の金利上昇リスクに備える! 200万円~4,000万円まで

固定金利 特約10年 年利 0.78%

貸付金額 2,000万円以下 抵当権設定 不要

比べてください。10年固定がこの金利!

抵当権設定に係る登記費用が0円。

問合せ先 (一財)兵庫県学校厚生会

生活用 品課 TEL (078) 331-9305
信用共済課 貸付係 TEL (078) 331-9974

参加することから得る 明日の実践へのヒント

ぜひ積極的な参加を!!

兵庫組各専門部・研究所 夏の学習会に参加しよう

兵庫組各専門部・研究所による夏の学習会がおこなわれる。今年度より託児(事前申込が必要)をおこなう。運動や実践の継承・発展のため、積極的に参加しよう。

養護教員部

7月24日 養護教員部サマーセミナー

全体会では、大矢真梨子さん(津名)から第73次全国教研レポート「熱中症より怖いもの……長袖・マスクにたくす思い」の発表がある。

その後、「能登半島地震の被災地支援にかかわって(仮題)」をテーマに、コーディネーターの三村理加さん(姫路)、シンポジスト

の安川裕美さん(西宮)、濱口雅代さん(南あわじ)によるシンポジウムがおこなわれる。

午後は安村美代日教組養護教員部長の中央情勢報告の後、「子どもの悩みや問題点にふれて」、「子どもの健康権の確立について」、「養護教員部運動の強化発展のために」をテーマに各分科会にわかれ、レポートをもとに協議する。



事務職員部

7月25日 兵庫県学校事務研究会

学校事務研究会では、これまで兵庫における子どもの学習保障、学校事務労働の確立をめざしてとりくみをすすめてきた。

今集会のテーマを、「子どもの学習権保障をめざす学校事務の創造」ゆたかな教育の創造をめざし、義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、より主体的に職務の確立をすすめる」としている。



23年度の様子

今年度は、第1分科会において、「みんなで学校事務職員の仕事を考えよう」をテーマに意見交流の時間をもち、また、人数制限はなく、ラッセルホールでの対面参加、自宅からのオンライン視聴のどちらかを選択できる。

女性部

7月26日 女性部サマーワークショップ

要がある。これらの学びを生かし、教員員の多様な働き方を認め合える職場づくりにもつなげていくため、女性組合員だけでなく、男性・青年層も含めた参加を呼びかけている。

午前は竹安栄子さん(京都女子大学学長)に「なぜ、今『ジェンダー平等』が必要なのか」というテーマで講演いただく。



23年度の様子

学校は多様な存在の人々が、自分らしく尊敬をもって生きることができるとして生かすための学びの場をつくるための学びの場。そのためには、セクシュアル・マイノリティについて学び、多様性を理解する必要がある。

青年部

7月27・28日 青年部サマーセミナー

県立南但馬自然学校で青年部サマーセミナーをおこなう。今年度も県内約150人の青年教員が集まる予定である。

「A. R. E. (Acting! Ring! Enjoy!)」をテーマに、兵庫組が提唱する「体験活動」に重点を置き、自然体験・社会体験などを取り入れた活動や子どもたちの姿や自身の働き方を語り合う。

一日目は全体会と分科会をおこない、二日目は講座



栄養教員部

7月29日 栄養教員部夏季学習会

全体会では、「ともに考えよう、震災・学校支援チーム(EARTH)」における栄養教員のとりくみをテーマに、コーディネーターの木岐日早子さん(東播)、パネリストの藤井真理子さん(三田)、徳留千賀子さん(明石)によるシンポジウムがおこなわれる。

午後は研究所ジェンダー平等教育部会による参加型ワークショップの後、川原芳和さん(日教弘兵庫支部長)より「将来にそなえるお金の話」、塚田香織さん(社労士)より「女性の健康課題と仕事の両立」、瀧井智美さん(株式会社IIC代表取締役)より「女性のリーダーシップとキャリア形成」について、分科会がおこなわれる。

グループ討議では、共同調理場、単独調理場(小学校・中学校・特別支援学校)ごとに、食育のとりくみや業務改善等について話し合う。

この活動をおこなう。講座Iでは、班別の意見交流があり、職場実態や組合活動についてグループ討議がおこなわれる。

臨探部

7月30日 臨探部夏季学習会

全体会では、「兵庫組臨探部運動を学ぶ(仮題)」をテーマに、川原芳和兵教組顧問に講演いただく。

その後、職場・地域組合実態交流等の課題をテーマに、分科会がおこなわれる。

採部運動を学ぶ(仮題)をテーマに、川原芳和兵教組顧問に講演いただく。

兵庫教育文化研究所 第51回教育課程編成講座

前期：8月7日 後期：8月8日

「わかる授業・楽しい学校」の実現をめざし、教育課程の編成と創造的な教育研究活動をすすめよう!



23年度全体会の様子



23年度分科会の様子

8月7・8日、ラッセルホール他で第51回教育課程編成講座をおこなう。前期後期共通で、午前中に教育講演会(オンライン配信あり)の後、午後から分科会をおこなう。

7日【教科系分科会】「教科系領域におけるアンコンシヤス・バイアスについて(仮題)」をテーマに、中村和子さん(オフィスEIE 男女共同参画アドバイザー)による講演、寺田奈央さん(ジェンダー平等教育部会研究所員)の実践報告がある。

分科会は、日本語教育、外国語教育、社会科教育、算数・数学教育、理科教育、美術教育、音楽教育、技術・家庭科教育、保健・体育、総合学習・教育課程をおこなう。



参加費無料



全体会へのオンライン参加のみも可能である。参加希望の方は、二次元コードより申込をおこなう。

養護教員部 新組合員学習会



6月8日、ラッセルホールで養護教員部新組合員学習会をおこなった。新組合員、臨時的任用養護教員、世話役を含め38人が参加。伊藤嘉余子さん(大阪公立大学教授)による「子どもの声をきく養護教員の立場から」の講話の後、4つのグループにわかれて討議をおこなった。



伊藤嘉余子さん

冒頭、岩崎兵教組養護教員部長より、組合の歴史や養護教員部運動のとりくみについての語り継ぎがおこなわれた。

その後、伊藤嘉余子さんの講話があった。伊藤さんは、貧困や虐待等さまざまな理由によって、親や家族と一緒にくらすことができない子どもの支援を中心に研究している。

保健室に頻りに来る子ども、あるいは支援が必要な、また厳しい家庭環境で過ごす子どもの思いや願いをどのように引き出したらいいのか、日ごろ悩んでいる教職員へむけて、国連「児童



の権利に関する条約(子どもの権利条約)等を交えながら、「子どもの声をきく」とはどういうことか、「ヤングケアラー支援のポイント」について話された。その後、初任者どうし、世話役どうしが各グループにわかれ、意見交換をおこなった。日頃の学校現場の様子やとりくみ、養護教員の職務(保健室の運営や子ども対応、教職員との連携、健康診断などの対応)等について、思い・悩みを出し合い、共有することができた。